

# PPPプラットフォーム意見交換会 実施結果概要

川崎市八ヶ岳少年自然の家における再編整備の民間活用について、再編整備の考え方を整理するにあたり、次のとおり意見交換会を実施しましたので、結果を公表いたします。

- 1 実施日 令和5年1月19日（木）、1月23日（月）、1月24日（火）
- 2 参加事業者 全8者（建設業・維持管理業・コンサルタント業等）
- 3 実施形式 個別対話
- 4 主な意見

項目	事業者からの主な意見	
有効活用の手法	学校利用施設	・企業研修、スポーツ合宿、ワーケーションなど
	低未利用地	・キャンプ場、グランピング施設、温泉など ・キャンプ場などは、民間収益事業として事業者側で整備することも考えられる
	課題・留意事項	・バリアフリー面での改善が必要 ・一般利用促進のためバスケットコート1面程度の体育館が必要 ・学校利用と一般利用の動線や食事の時間帯を分ける等工夫が必要
事業参画する上での課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が利用する施設、敷地Bのインフラ整備、温泉掘削などの費用は行政側で負担して欲しい</li> <li>・料金設定は条例の上限値が高い方が参画しやすい</li> <li>・物価変動等に応じて負担が見直されることがわかると参画しやすい</li> <li>・改修の場合は、既存資料と現状が違った際のリスク分担を明確にし、協議できるようにして欲しい</li> <li>・居ながら工事の場合は、工事区画や車両動線の分けがどの程度できるか等を示して欲しい</li> <li>・改修より改築の方が事業者としてのリスクは小さい</li> <li>・改築と改修の範囲を民間提案とすると参画のハードルになる</li> <li>・民間提案の部分が多すぎると事業者によってかなり提案内容が変わるので、提案の範囲を明確にして欲しい</li> <li>・部屋や厨房等の仕様や低未利用地の活用方法など、要求水準として決まりすぎない方が提案しやすい</li> </ul>	
財政負担の軽減	発注方法	・性能発注方式は、民間事業者の提案により、コストダウンの実現が可能 ・設計、施工、運営を一体で発注することで、整備費の縮減や工期の短縮が見込める
	維持管理・運営	・設計段階から運営に係わることで、運営の効率化、維持管理コストの縮減が図れる
	施設の有効活用	・低未利用地等を民間収益事業として運営することで収益を上げることができれば、市に還元することも考えられる
効果的な事業手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計、工事、運営を一体で発注する方が効率的</li> <li>・事業期間は10年～15年程度が妥当</li> </ul>	

- 5 今後の対応 今回の意見を参考にしながら再編整備の考え方を整理し、効果的な事業手法等の検討を進めて参ります。